

教育原理 7

令和4年5月25日（水）
八戸学院大学短期大学部

さまざまな国の教育思想家たち

- * エクササイズ
- * コメニウス、ルソー、ペスタロッチ、フレーベル、オウエン、マクラミン姉妹、モンテッソーリらの教育思想

第1節 コメニウスー感覚からー

1. 『世界図絵』

子どもが、身分や差別によって教育が受けられない状況

→「あらゆる人に、あらゆる事柄を」教授

→「僅かな労力で 愉快に 着実に」学べるように

上記を目指して作られた教科書が、『世界図絵』である。

コメニウスの『世界図絵』は…

視覚に訴えることで、

事物をよく観察する、その注意をかき立て

学びを喜びに変え

遊ぶようなやり方で知識を獲得する

→子どもの学び方の研究を通して教授の方法を考えた

第2節 ルソー ー子どもの発見ー

1. 『エミール』

啓蒙思想家として知られるルソーが、

「子どもを育てる方法」について、依頼されて書いた著書である。

→子どもがどういうものであるかを知ることが、よい教育を考える第一歩であると主張した。

1. 『エミール』

- * 発達段階に応じて教育の方法がある。
- * 子どもは、感覚による経験から物事を理解する。
- * 感覚器官を通して、子ども自身が理解・思考できるように感覚的理性を育てる。

→ 子どもは大人とは異なるものの感じ方があると主張し、教育のあり方を考えた。

2. 自然

- * 人間は本来『善』であり、身分にかかわらず自身で思考し判断できる理性がある。

→教育は、その『理性』を育てることである、と主張。

→子どもの発達は、『自然』（理性）なものであり、その自然をそのまま育むべき（＝「消極的な教育」）であると主張した。

2. 自然

- * 自然の中で育つことこそ、子どもの発達にとって有効である、と主張した。

→都市部ではなく、自然豊かな田舎で教育を展開することを理想とした。

→ルソーの「自然主義」として批判された。

第3節 ペスタロッチー直観教育一

1. すべては他がために

孤児となった子どもたち、貧しい子どもたちを救済する活動を展開していた。

→貧困に苦しむ農民の経済安定のために教育の必要性を主張した。

玉座の上にいようと、低い地位にあるうと同じ人間であり、社会改革は教育によって達せられると考えた。『民衆教育の父』

2. 直観の原理

- * 人間も自然の法則に従うべきである。
- * 単純なものの直観から複雑なものへ段階を踏み学びへ繋げる。
- * 関連しあっている事物を精神の内に取り込む。
- * 五感を通した印象を明瞭にすること。

などを主張した。

- * 「信頼関係」

教育の土台として、教師と子どもの中に温かい信頼関係を築くことの大切さを説いた。

→それを基盤として、やがて子ども同士の信頼関係に繋がると考えた。

- * 直観教授『メトード』

小学校前に、直観的な印象を明瞭な概念へと高めていく教育を『メトード』と呼んだ。

→子どもの経験や自発性を重んじ、実物や絵画、模型、写真などを用い感覚に訴え学習の促進を図る教授方法。

2. キンダーガルテン

フレーベルは…

1837年「幼児と青少年の作業衝動を育成するための施設」（遊具の製造施設）を設立。

「児童指導者の養成施設」を設立。

1840年「キンダーガルテン」（普遍的ドイツ幼稚園）と上記施設を名称変更した。

→ 「幼稚園の父」と呼ばれる。

2. キンダーガルテン

万物は神から生み出されたものであり、人間も神の恩寵として保護されるべきものと考えた。

→子どもの内にある神性を覚醒させ、万物の根源を正しく認識するように導く教育の大切さを主張した。

→特に、幼児期の教育を重視（幼児期に受けた印象がそのまま大人に引き継がれると考えた）した。

2. キンダーガルテン

キンダーガルテンは…

- * 就学前の子供たちの感覚を鍛錬し覚醒しつつある
精神の活動をさせる場
- * 人間の本質にもとづく遊戯や遊戯法の普及、構成
活動の衝動を満たす教育の実践の場
- * 指導者を育てる保母の養成の場

などとして展開された。

第5節 オウエンとマクミラン姉妹 ー環境の改善へー

1. オウエン

子どもの過酷な労働が、性格の形成を妨げている現状を社会の問題として捉えた。

→教育の環境改善を訴え、実践した。

1. オウエン～紡績工場の経営者

1760年代のイギリスでは…

産業革命を経て、子どもも14～15時間の労働を強いられていた。

→オウエンは、貧しさゆえに働かなければならない子どもの、環境の改善に取り組んだ。

労働時間の制限、読み書きの教育、工場を清潔にすること など

さらに、青少年や幼児のための教育施設の計画を立案～**幼児学校「性格形成学院」の開設（1816年）。**

1. オウエン

「性格形成学院」

- * 実物または模型や絵による教授法
- * 2歳児以上はダンスと音楽の実施
- * 親の参観は自由で、体罰は禁止した
- * 遊びの奨励 など

2. マクミラン姉妹～社会運動家

20世紀に入っても貧困家庭の子どもの状況は変わらずにあった。

就学前の幼児にこそ良き環境が必要と考えた。

→1913年「レイチェル・マクミラン保育学校」を開設。

多様な体験、戸外の環境、健康教育などを重視するとともに、母親の教育に関する意識向上にも努めた。

貧困と幼児教育

- ＊ ジェームズ・J・ヘックマン～2000年にノーベル経済学賞を受賞

「幼児教育の経済学」

就学前の一定水準の教育を受けることにより、将来的に、活発な経済活動に寄与し、犯罪等を侵さない大人となる。5

- 非認知的スキル（肉体的・精神的健康や、根気強さ、注意深さ、意欲、自信といった社会的・情動的スキル）の重要性が認識されるようになった。
- 認知的スキルも非認知的スキルも幼少期に発達し、その発達は家庭環境に左右される。
- 幼少期の介入に力を注ぐ公共政策によって、問題を改善することが可能である。

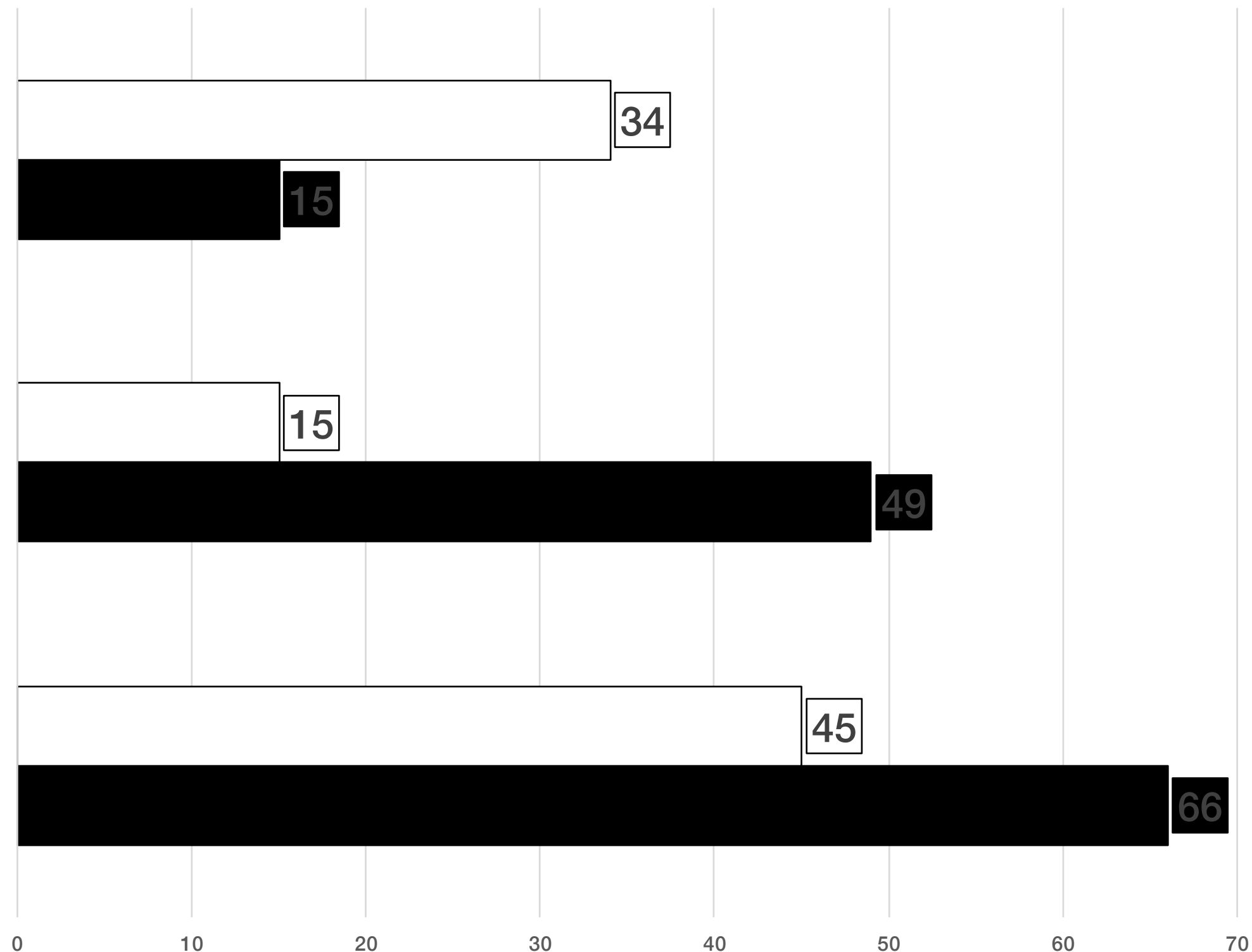
- ペリー就学前プロジェクトとは...
- 1962年～1967年に、ミシガン州の低所得でアフリカ系の58世帯の子どもを対象に実施された。
- 就学前の幼児に対して、幼児教育を実施した。
- その内容は、子供の年齢と能力に応じて調整され、非認知的特質を育てることに重点を置いて、子供の自発性を大切にする活動を中心とした。
- その効果について、40年にわたって縦断的に捉えた研究である。

ペリー就学前プロジェクトの効果 「教育的効果」

特別支援教育
の対象

14歳時点での
基礎学力の
達成

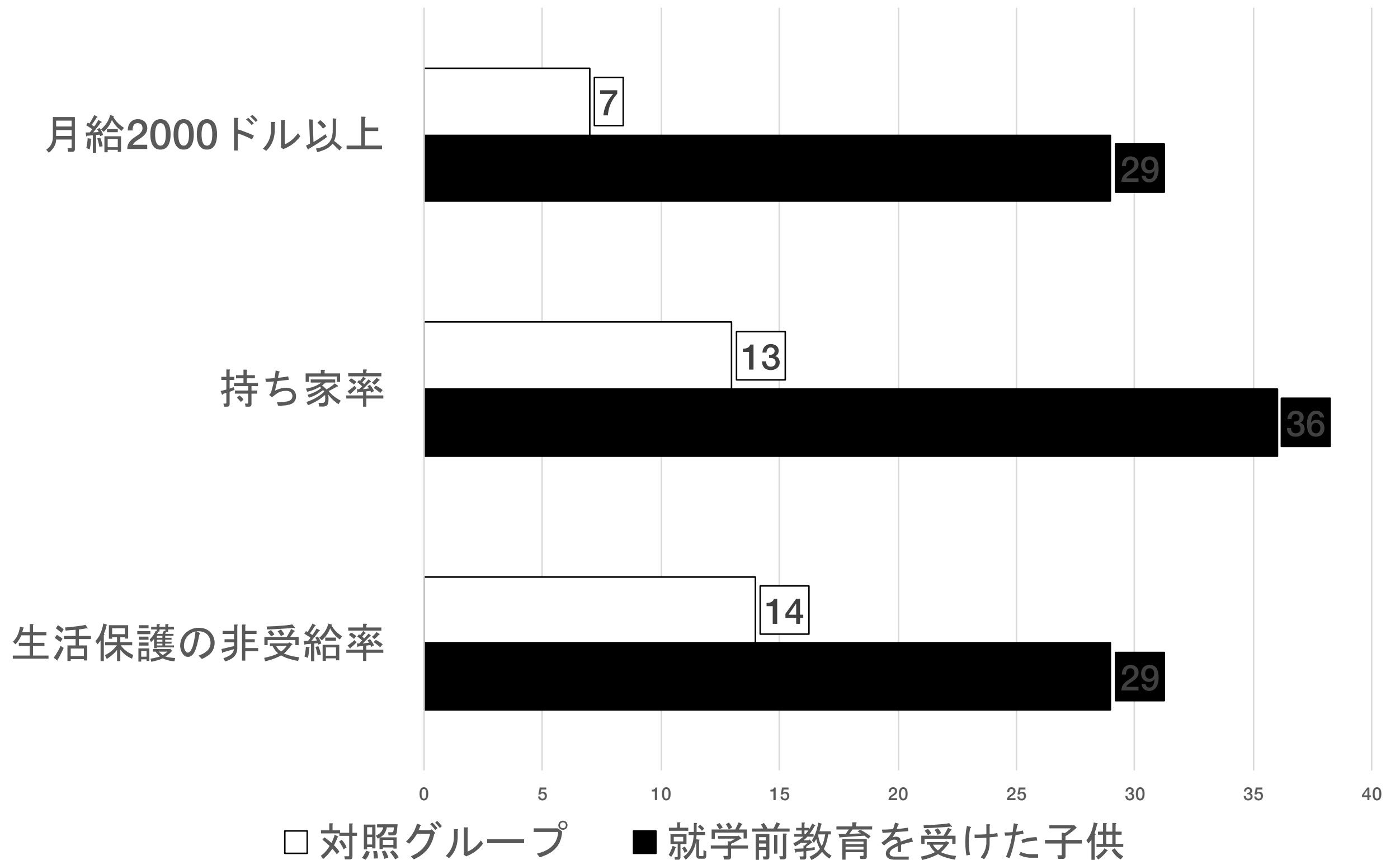
留年・休学せ
ずに高校卒業



□ 対照グループ

■ 就学前教育を受けた子供

ペリー就学前プロジェクトの効果 「40歳時点での経済的効果」



- その他の効果として

□ IQの高さは当初見られた。その後4年で差は見られなくなったが、IQ以外の非認知能力の向上などの効果は継続した。

□ 14歳時点での学力検査においては、就学前教育を受けた子供は受けなかった子供よりも学校へ行っている率が高く、より多くを学んでいることから成績が良かった。

□ さまざまな社会的行動についても良い影響が見られた。

- 教育の時期による視点から

■ その習得に臨界期の制約を受ける学習事項も存在する。

→ 幼児期には、新たな経験・学習をすると、2つの神経細胞がスパイン（神経細胞内の樹状突起の小区画）によって繋がり、神経の通り道が形成される。この通り道を電気信号が走り、その度ごとにこの学習の回路は強化されていく。

→ 成長に伴い、スパインの動きが鈍くなり、新たな学習回路を作り出すことが難しくなるとされている。

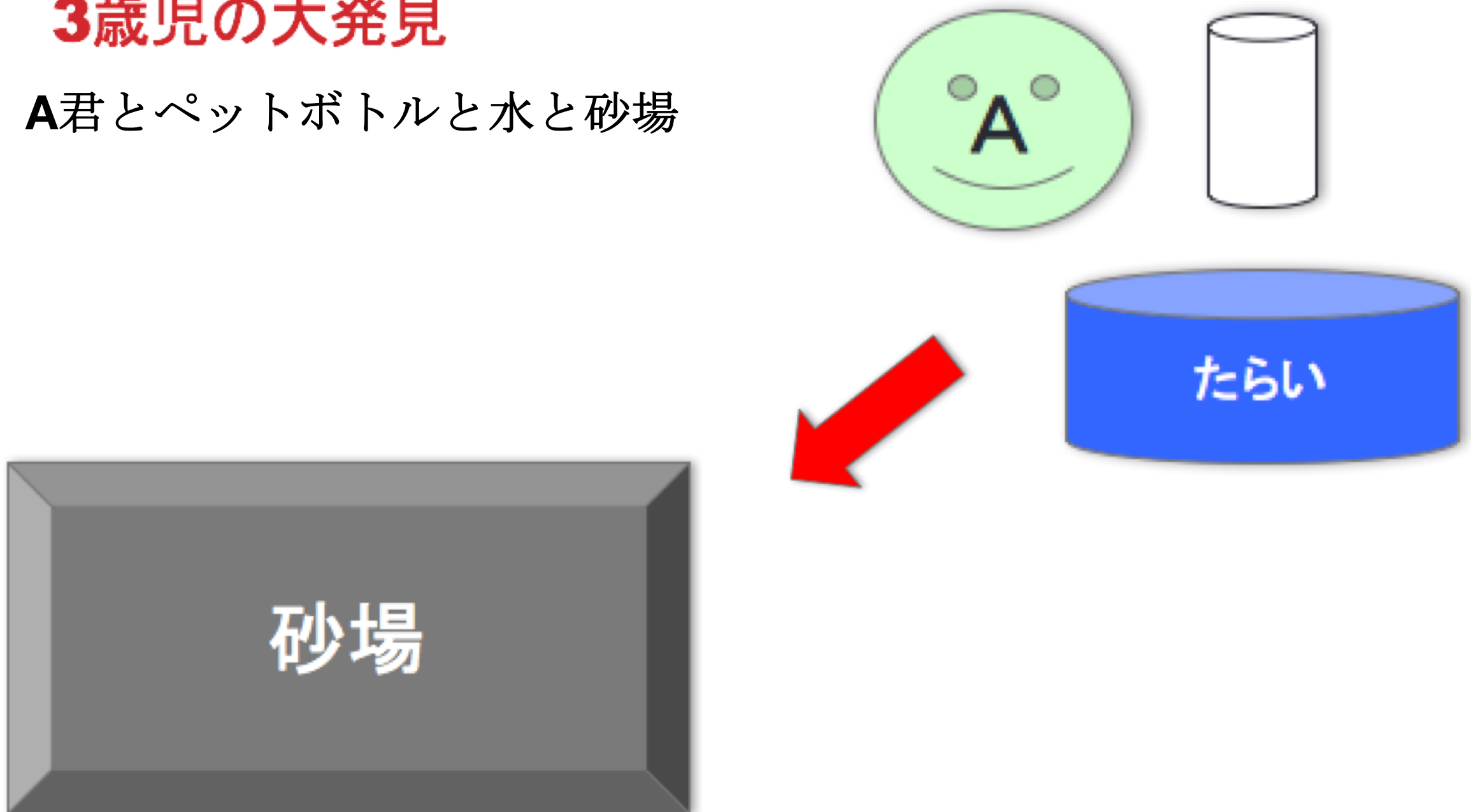
乳幼児期に、多様な経験・学習を得る教育環境に恵まれることは、後年の学習を促進する可能性がある。

4. 幼児教育の意義

後の学びを、より豊かなものにするために

3歳児の大発見

A君とペットボトルと水と砂場



校種	学年	エネルギーの捉え方	粒子の存在
小学校	3年	風とゴムの力の働き ・ 風の力の働き ・ ゴムの力の働き	
	4年		空気と水の性質 ・ 空気の圧縮 ・ 水の圧縮
	5年	振りの運動 ・ 振りの運動	
	6年	てこの規則性 ・ てこのつり合いの規則性 ・ てこの利用	
中学校	1年	力の働き ・ 力の働き	物質のすがた ・ 身の回りの物質とその性質 ・ 気体の発生と性質
	2年		物質の成り立ち ・ 物質の分解 ・ 原子・分子
	3年	力のつり合いと合成・分解 ・ 水中の物体に働く力（水圧、浮力を含む） ・ 力の合成・分解	

幼児教育の学びをつなぐ

学びを連鎖させるということ

平成28年度SSTA青森支部 冬季研修会

八戸市立下長小学校 湊 尚人 先生の報告

3年生総合

「もっと遠くに走らせたいな！わたしも乗りたいな！」

子どもから、「自分の乗れる車を作りたい！」とアイデアが出たときに、その思いを実現できなかったんだよなあ。

という、湊先生のつぶやきに、いたく共感。

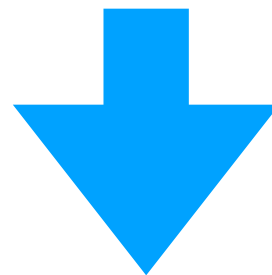
→幼児教育に通じる部分がありませんか？

私たちにできること・すべきこと

- 幼児期の学びについての理解（前出3）
- 幼児の自発的な活動としての遊び、主体的な活動としての遊び＝心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習である、という認識。
- その学びを実現するために、遊びを通しての指導を中心として、ねらい（この時期に育つことが期待されるもの）が総合的に達成されるようにすることが求められる。

幼児期の学びについて伝えること

- 保育者同士で～日常の教育・保育の営みとして
- 保護者へ～より深い幼児理解と、育ちの共有
- 小学校の先生へ～学びの連続性の共通理解



幼児教育の意義の共有

第6節 モンテッソーリ ー自主性をいかにー

モンテッソーリメソッド

八戸学院聖アンナ幼稚園で取り入れられている教育方法



モンテッソーリは…

女性医師として障害児教育に携わる。

知的障害児用の教具を修正し、健常児の教育にも適用して実践し、教育的成果を上げた。

①子ども自身が望む教具を選ぶ。

②教師は子どもの興味に従って作業を進められるように支援する。

③落ち着いて作業ができるように見守る。

参考文献

1. シリーズ知のゆりかご「いまがわかる教育原理」

第6章　さまざまな国の教育思想家たち

西本望編　2018年　株式会社みらい

2. 幼児教育の経済学

ジェームズ・J・ヘックマン著　大竹文雄解説　古草秀子訳

2015年　東洋経済新報社